

特別支援学級道徳授業実践

1 主題名 本当の気持ち 内容項目〔友情、信頼〕

2 ねらいと教材

友達と関わり合う中で、自分の本当の気持ちを伝えることや、相手の気持ちを想像・理解しようとする気持ちを育む。

教材名 「さかさのこもりくん」（教育画劇 作・絵 あきやま ただし）

3 教材のとらえ

本教材は、逆さまになって生活をしている「こもりくん」は、話をする時にいつも自分の思いと反対の言葉になってしまう。「好きなものは嫌い」「こっちに来てほしい時はあっちに行って」となる。自分の本当の気持ちを伝えようとすればするほど、相手には反対に伝わってしまう。しかし、本当の気持ちを理解してくれた、くまんととの出会いでこもりくんが大きく変わっていくという内容である。

本時の導入段階では、今までの自分を振り返り、嫌な気持ちになった時のことを思い出せるようにして、自分事として考えられるようにする。これは、事前に確認したことを掲示し、本時ではその時の気持ちと話し合ったことを確認する。「さかさのこもりくん」の話の内容を捉えやすくするために、前半部分と後半部分で分けて進める。さらに視覚的に分かりやすくするために紙芝居を使う。紙芝居には絵だけではなく、登場人物の気持ちを想像する時にポイントとなる会話を入れ、文字からも内容の理解ができるようにする

展開段階では紙芝居を見直し、ねずみくんとくまんの気持ちを考えられるようにしていく。また、個々の特性に合ったワークシートを作成し、自分の気持ちを一人一人が様々な形で意思表示できるようにする。気持ちが答えられない児童にはヒントカードから言葉を選べるようにしたり、表情カードを用意したりしておく。

終末段階では、後半部分の紙芝居を見た後に、自分の本当の気持ちを伝えられたこもりくんの気持ちを考えることを通して、本当の気持ちを伝えることの大切さに気付かせたい。更に、友達との出会いを通して、こもりくんが変わっていく姿を、自分と重ねて考えられるようにしたいと考えている。

4 本時の指導案

本時の目標 「自分の気持ちを伝えることができる。」

本時の学習 別紙参照